

東京農業大学オホーツクキャンパス  
学術情報課程年報2012

# 博物館と学芸員

を目指す



## 網走と周辺のミュージアム

おんねゆ温泉・山の水族館（北見市留辺蘂）、北海道立北方民族博物館（網走市）、丸瀬布昆虫生態館（遠軽町）  
博物館網走監獄（網走市）、網走市立郷土博物館（網走市）、網走市立美術館（網走市）  
美幌博物館（美幌町）、シゲチャンランド（津別町）、斜里町立知床博物館（斜里町）

東京農業大学学術情報課程  
（オホーツクキャンパス）

**網走は**博物館に恵まれた場所である。市内のまとまった地域に登録博物館が4館、網走市立郷土博物館・網走市立美術館・北海道立北方民族博物館・博物館網走監獄が存在する。これらは北海道では長い歴史を持つ本格的な私立博物館と公立美術館、博物館の名称を持つ唯一の道立施設、道内では最多の入場者を誇る野外博物館など重要な博物館ばかりである。いずれもキャンパスからバスで10分程度の場所にあり、すいた道路をバスで行けば1コマの授業90分間の間で駆け足ながら見学が可能である。オホーツクキャンパスは学内に博物館を持たないが、立地環境は学芸員養成において恵まれた条件にあると評価できる。

**周辺にも**調査や展示の支援者にあふれる美幌博物館、普及活動と出版物が充実した知床博物館、数少ない本格的な丸瀬布昆虫生態館、世界的に活躍するデザイナー造形作家の作品を取めたシゲチャンランドなどが存在し、多様で個性豊かな博物館に囲まれている。2012年7月に改装開館した「おんねゆ温泉・山の水族館」は2か月で10万人の入館者を集め、注目度一番である。往復200kmを越えるが、十勝の足寄動物化石博物館やタンチョウを飼育する釧路市動物園は、その分野では世界にその名が届いている。土曜日に行った学生時代の見学だけでは、本当の価値は十分見つけられないかも知れない。

**水族館**もかつて網走に存在した。2002年に閉館したオホーツク水族館である。返す返すもこのことだけは残念でならない。8月の理事会で決定、9月に閉館というあっという間のできごとだった。その後、2006年になって本学部にアクアバイオ学科と学術情報課程が設立された。この間4年。これをなんとか持ちこたえていれば、道が開けたかも知れないと思うとほんとうに悔やまれる。

**廃止削減**は現在の博物館界を揺るがす流行事象となっている。このことは特定の地方公共団体に目立ち、「自治体リスク」とでもいうべき状況である。一度なくした博物館を再開することはきわめて困難であり、廃止は子ども世代への影響を鑑み慎重に判断すべきである。博物館の評価とは教育上の効果を最重視すべきであり、そのひとつとして大学での利用、学芸員養成における価値を訴えていくことも必要だろう。それには学芸員や養成課程への理解が前提となり、本課程の存在意義のひとつもそこにある。

博物館情報学研究室・嘱託准教授 宇仁義和（うに・よしかず）

平成24年度東京農業大学学術情報課程（オホーツクキャンパス）経過報告

1. 開講科目

| 科目名         | 単位 | 開講年次   | 担当教員       | 教科書                         |
|-------------|----|--------|------------|-----------------------------|
| 教育学概論       | 1  | 1年後期   | 入宇田尚樹      | 小澤周三編 1998『教育学キーワード』        |
| 博物館教育論（新課程） | 2  | 1年後期   | 入宇田尚樹・宇仁義和 | 小澤周三編 1998『教育学キーワード』        |
| 博物館概論（新課程）  | 2  | 1年後期   | 宇仁義和       | オリジナルプリント                   |
| 博物館資料論      | 2  | 2年前期   | 宇仁義和       | 国立科学博物館 2003『標本学』、オリジナルプリント |
| 生涯学習概論      | 1  | 2年後期   | 宇仁義和       | オリジナルプリント                   |
| 博物館情報論      | 1  | 2年後期   | 宇仁義和       | 波多江潤子 2007『新詳細DTP基礎改訂版』     |
| 博物館経営論      | 1  | 3年前期   | 宇仁義和       | オリジナルプリント                   |
| 視聴覚教育メディア論  | 1  | 3年前期   | 宇仁義和       | オリジナルプリント                   |
| 博物館実習       | 3  | 3・4年通年 | 宇仁義和       | オリジナルプリント                   |

2. 館園見学

| 学年 | 見学施設           | 分野            | 設置者・博物館法による区分 |
|----|----------------|---------------|---------------|
| 1年 | 博物館網走監獄        | 建築・歴史         | 私立・登録         |
| 1年 | 北海道立北方民族博物館    | 民族・考古         | 公立・登録         |
| 2年 | 足寄動物化石博物館      | 自然史           | 公立・類似         |
| 2年 | 釧路市動物園         | 動物園           | 公立・類似         |
| 2年 | 釧路市こども遊学館      | 科学館・子ども博物館    | 公立・相当         |
| 3年 | 網走市立郷土博物館丸万収蔵庫 | 産業史・民俗        | 公立・登録         |
| 3年 | 旭川市青少年科学館      | 科学館・プラネタリウム   | 公立・登録         |
| 3年 | サッポロビール博物館     | 企業博物館         | 私立・類似         |
| 3年 | 札幌市円山動物園       | 動物園           | 公立・相当         |
| 3年 | 北海道大学植物園博物館    | 植物園・大学博物館     | 国立・相当         |
| 3年 | 北海道大学総合博物館     | ユニバーシティミュージアム | 国立・類似         |
| 3年 | 小樽水族館          | 水族館           | 私立・相当         |



釧路市動物園



釧路市こども遊学館

### 3. 授業内容

#### 1) オリジナルテキスト

授業科目の多くでオリジナルテキストを用いた。印刷して配布せず、PDFデータを研究室ウェブサイトに掲載し、各自ダウンロードかつプリントアウトするように指示した。PC上で使用すればテキストに埋め込んだURLのリンクが使える、重要事項はコピー&ペーストでウェブ検索が容易である。プリントアウトは、口頭での発言を含め重要事項を書き込み、ノート代わりに使用するよう案内した。これは板書すると自動的にノートへ書き写す学生が多いため、あえての指示である。

#### 2) 参考書

参考書として以下の本を指定し、研究室ウェブサイトで簡単に紹介した。品切れや絶版のものも含め研究室で閲覧可能である。

##### ・博物館概論

博物館概論／伊藤寿朗・森田恒之／学苑社（1978）

新版水族館学 水族館の発展に期待をこめて／鈴木克美・西源二郎／東海大学出版会（2010）

建築設計資料28記念展示館／岡野眞・建築思潮研究所編／建築資料研究社（1990）

建築設計資料88拡張型博物館／岡野眞・建築思潮研究所編／建築資料研究社（2002）

##### ・博物館教育論

放課後博物館へようこそ／浜口哲一／地人書館（2000）

##### ・博物館資料論

博物館資料の修復と製作／内川隆志／雄山閣（2004）

博物館・美術館の生物学 カビ・害虫対策のためのIPMの実践／川上裕司・杉山真紀子／雄山閣（2009）

標本の作り方／大阪市立自然史博物館／東海大学出版会（2007）

##### ・生涯学習概論

市民のなかの博物館／伊藤寿朗／吉川弘文館（1993）

21世紀にはばたくカナダの教育（カナダの教育2）／小林順子ほか／東信堂（2003）

##### ・博物館情報論

カラー図解DTP&印刷スーパーしくみ辞典／DTPWORLD別冊／ワークスコーポレーション（毎年刊行）

##### ・視聴覚教育メディア論

メディア文化論／吉見俊哉／有斐閣（2004）

どこまでOK? 迷ったときのネット著作権ハンドブック／中村俊介／翔泳社（2006）

##### ・博物館経営論

地域博物館への提言／日本展示学会／ぎょうせい（2001）

ミュージアムが都市を再生する／上山信一・稲葉郁子／日本経済新聞社（2003）

キュレーターからの手紙／三木美裕／アム・プロモーション（2004）

##### ・博物館実習

ミュージアムの学びをデザインする 展示グラフィック&学習ツール制作読本／木下周一／ぎょうせい（2009）

博物館への挑戦- 何がどこまでできたのか／日高真吾・園田直子編／三好企画（2008）

## 2) 農大ロビー展「網走寒国 (あばしりかんどく)」

昨年度と同様に3年生がテーマ設定と資料収集および製作を行なう展示実習を実施した。今年のテーマは寒さと冬越しであり、タイトルも学生の発案である。作業は授業時間では学生全体でテーマ設定や展示資料について話し合ったほか、班ごとの進捗状況を報告した。資料の製作は教員研究室と約2か月間借用した演習室において、班ごとに集まって作業した。

開催期間 12月8日(土)～16日(日) 9:30-16:30

10日(月)は休館、16日は15時まで

開催場所 北海道立北方民族博物館特別展示室(ロビー)

主催 東京農業大学学術情報課程(オホーツクキャンパス)

### ○展示資料

冬のジオラマ 網走の海と湖、陸と地下の冬と生きものの冬越し

剥製と透明標本 サケ科魚類の剥製、網走湖の小魚の透明骨格標本と製作過程の紹介

アザラシ5種の毛皮 オホーツク海に生息するアザラシ全5種の一頭まるごとの毛皮

網走の祭り よさこい衣装とスライドショー



学術情報課程1年生の展示見学。先輩の作品に興味津々の様子。

#### 4. 館園実習

本年度の実習生は31名（3年生19名・4年生12名）、受入先は北海道4館10名、秋田県1館1名、福島県1館1名、茨城県1館1名、千葉県1館1名、埼玉県1館2名、東京都2館5名、神奈川県1館1名、長野県1館1名、三重県1館1名、鹿児島県1館1名、沖縄県2館6名であった。大学内での実習者は2館5名であり、学外での実習者26名のうち22名が生体展示施設での実習者（動物園1・水族館16・植物園1・その他4）と大半を占めている。これは毎年の傾向である。

お忙しいなか、実習生を受け入れてくださった館園にお礼申し上げます。

| 学籍番号                        | 氏名   | 期間                 | 館園名                 |
|-----------------------------|------|--------------------|---------------------|
| ○生物生産学科 3年生4名・4年生4名 計8名     |      |                    |                     |
| 18100000                    | 女子学生 | 2012.8.4-5         | 市立大町山岳博物館           |
| 18100000                    | 男子学生 | 2012.8.17-27       | 丸瀬布昆虫生態館            |
| 18100000                    | 男子学生 | 2012.11.18-28      | 海洋博覧会記念公園・沖縄美ら海水族館  |
| 18100000                    | 男子学生 | 2012.9.5-14        | 斜里町立知床博物館           |
| 18100000                    | 男子学生 | 2012.11.4-14       | 標津サーモン科学館           |
| 18100000                    | 男子学生 | 2012.12.13-23      | 東京農業大学「食と農」の博物館     |
| 18100000                    | 女子学生 | 2012.9.5-14        | 斜里町立知床博物館           |
| 18100000                    | 男子学生 | 2012.12.13-23      | 東京農業大学「食と農」の博物館     |
| ○アクアバイオ学科 3年生13名・4年生7名 計20名 |      |                    |                     |
| 21090000                    | 女子学生 | 2012.8.17-30       | 恩賜上野動物園             |
| 21090000                    | 女子学生 | 2012.7.5-16        | 茨城県大洗水族館            |
| 21090000                    | 女子学生 | 2012.11.18-28      | 海洋博覧会記念公園・沖縄美ら海水族館  |
| 21090000                    | 女子学生 | 2012.8.7-17        | ネオパークオキナワ名護自然動植物園   |
| 21090000                    | 男子学生 | 2012.7.4-17        | 鴨川シーワールド            |
| 21090000                    | 男子学生 | 2012.11.18-28      | 海洋博覧会記念公園・沖縄美ら海水族館  |
| 21090000                    | 男子学生 | 2012.8.7-10, 21-26 | 東京農業大学「食と農」の博物館     |
| 21090000                    | 女子学生 | 2012.7.26-8.4      | ふくしま海洋科学館アクアマリンふくしま |
| 21090000                    | 女子学生 | 2012.6.24-7.8      | 鳥羽水族館               |
| 21090000                    | 男子学生 | 2012.12.13-23      | 東京農業大学「食と農」の博物館     |
| 21090000                    | 女子学生 | 2012.8.13-26       | さいたま水族館             |
| 21090000                    | 男子学生 | 2012.8.13-27       | さいたま水族館             |
| 21090000                    | 女子学生 | 2012.9.1-10        | 男鹿水族館GAO            |
| 21090000                    | 男子学生 | 2012.9.14-24       | 標津サーモン科学館           |
| 21090000                    | 女子学生 | 2013.1.29-2.3      | 北海道立北方民族博物館         |
| 21090000                    | 男子学生 | 2012.10.26-11.4    | 標津サーモン科学館           |
| 21090000                    | 男子学生 | 2012.8.30-9.11     | いおワールドかごしま水族館       |
| 21090000                    | 男子学生 | 2012.9.14-24       | 標津サーモン科学館           |
| 21090000                    | 男子学生 | 2012.10.26-11.4    | 標津サーモン科学館           |

|               |      |               |                   |
|---------------|------|---------------|-------------------|
| 21090000      | 男子学生 | 2012.11.4-14  | 標津サーモン科学館         |
| ○食品香粧学科 3年生2名 |      |               |                   |
| 02100000      | 女子学生 | 2012.8.17-27  | ネオパークオキナワ名護自然動植物園 |
| 02100000      | 女子学生 | 2012.8.17-27  | ネオパークオキナワ名護自然動植物園 |
| ○産業経営学科 4年生1名 |      |               |                   |
| 20115000      | 男子学生 | 2012.8.27-9.7 | 東京農業大学厚木キャンパス植物園  |

## 5. 自主的な活動

受講学生による自主的な実習や調査活動が行われた。これらは正規のカリキュラムではないが、博物館や学芸員養成に関わる内容であり、担当教員が計画あるいは仲立ちしたものである。協力くださった北海道博物館協会学芸職員部会、紋別市、オホーツクとっかりセンターおよびその運営会社である野生水族繁殖センター、国立科学博物館、ストランディングネットワーク北海道、日本セトロロジー研究会、観察船を運航されている前田漁業部、そして網走観光協会の皆様にお礼申し上げます。

### 1) 北海道博物館協会学芸職員部会研修会 2012.10.11

アクアバイオ学科4年の女子学生と女子学生、同3年の男子学生と男子学生の4人が北海道立常呂少年自然の家（北見市常呂町栄浦）で開催された研修会に参加し、植物同定・標本作成技術を学んだ。学生の参加は、北網圏北見文化センターの柳谷卓彦学芸員（本学卒業生）の計らいで実現したものである。

### 2) オホーツクとっかりセンター飼育実習 2013.2.4-17

アクアバイオ学科3年生の女子学生が、紋別市のオホーツクとっかりセンターでアザラシの飼育実習を行なった。実習内容は、飼育技術、飼育個体の識別、餌づくりと給餌、ふれあいコーナーの運営と記念撮影などであった。

### 3) ストランディング調査 2012.11.16-17

アクアバイオ学科4年の女子学生の2人が、宗谷管内猿払村に漂着したアカボウクジラ科未知種の鯨類の現地解剖に参加した。調査主体は国立科学博物館と北海道大学水産学部の学生を中心とするストランディングネットワーク北海道である。旅費は日本セトロロジー研究会の委員会助成金を使用した。

### 4) 鯨類海鳥類観察調査 2012.7-9月

生物生産学科2年の女子学生・男子学生アクアバイオ学科4年女子学生、同2年男子学生・男子学生（一般学生）の5人が「あばしりネイチャークルーズ」（前田漁業部運航）の自然観察船に乗船し、鯨類と海鳥類の観察調査を行なった。これは1日2回運航する一般客向けの観察航海に同乗した調査である。アカボウクジラ科未知種の鯨類、夏のオホーツク沿岸ではおそらく初記録であるエトピリカなどが観察された。



Kodama Aiko



Koyama Kanna

## 6. 年間カレンダー

|           |                                   |
|-----------|-----------------------------------|
| 4月 9日     | 前期開講科目授業開始                        |
| 5月 8日     | 受講希望者向け説明会                        |
| 5月16日     | 第1回教職・学術情報課程委員会（第二会議室）            |
| 5月16日     | 受講希望者小論文提出締切                      |
| 5月18日     | 受講許可者掲示                           |
| 5月19日     | 足寄動物化石博物館見学：展示室解説および化石レプリカ作成（2年生） |
| 5月21・24日  | 網走市立郷土博物館丸万収蔵庫見学（3年生）             |
| 6月23日     | 全国大学博物館学講座協議会全国大会に参加（関西大学）        |
| 8月 2日     | 前期開講科目授業（試験）終了                    |
| 9月12～14日  | 札幌館園見学旅行（3年生）                     |
| 9月24日     | 後期開講科目授業開始                        |
| 10月24日    | 博物館網走監獄見学（1年生）                    |
| 10月24日    | 第2回教職・学術情報課程委員会（第二会議室）            |
| 10月26日    | 全国大学博物館学講座協議会東日本部会に参加（駒沢大学）       |
| 10月31日    | 北海道立北方民族博物館見学（1年生）                |
| 11月10日    | 釧路市動物園および釧路市こども遊学館見学（2年生）         |
| 12月 8～16日 | 農大ロビー展「網走寒国」開催（北海道立北方民族博物館ロビー）    |
| 2月 1日     | 後期開講科目授業（試験）終了                    |

### 【博物館などへの採用】

・科目等履修生（平成14年度卒業）

生物生産学科 動物バイオテクノロジー研究室 男子学生 釧路市立博物館 2013・4月正職員採用

本課程修了者の博物館への就職は、これまでに新卒者2名（串本海中公園センターおよび寺泊水族館、いずれも平成22年度卒業生）であり、全修了者135人に対する割合は1.5%である。ほかに生物産業学部卒業生の科目等履修生2名が公立博物館に正職員として採用されている（美幌博物館・平成23年および釧路市立博物館・平成25年）。

東京農業大学オホーツクキャンパス  
学術情報課程・博物館情報学研究室  
平成25年（2013）3月  
099-2493 網走市八坂196  
Tel: 0152-48-3857 Fax: 0152-48-2766